

2002～2003

No.14

2003.7.25

ガバナー月信

Rotary International District 2640

Governor's Monthly Letter



2002 - 2003年度RIテーマ

	目 次	PAGE
ガバナー・メッセージ		1
ポリオ発生状況		1
小島年度の地区運営を振り返って		2
最終段階のポリオ撲滅運動		4
GSE団員の募集		5
地区幹事(2002-2003年度)を終えて		5
事務職員よりガバナー事務所閉鎖のご挨拶		11
ガバナー事務所からのお知らせ		12
出席報告 他		13

国際ロータリー第2640地区

ガバナー 小島 哲

ガバナー・メッセージ

2002 - 2003 年度

国際ロータリー第 2640 地区

ガバナー 小島 哲

2002 - 2003 年度

クラブ会長、幹事の皆様



1 年間、誠にお世話になりました。改めて厚くお礼申し上げます。昨年の国際協議会、P E T S , 地区協議会から、地区大会、ブリスベン国際大会と、あっと言う間に 1 年半が過ぎ去り、この 6 月 30 日をもって私のガバナーとしての任務も終了しました。ご協力、ご支援の数々決して忘れることは出来なんでしょう。特に、公式訪問時に歓待して下さい、楽しく過ごさせて頂いたことは、私の思い出

に何時までも残ることと思います。

色々と変更したところがありましたが、自由にさせて下さった各 P D G の皆様にも心より感謝致しております。ありがとうございました。又、それによりクラブの皆様にもご迷惑をお掛けしましたし、ご協力下さった事務局さんには改めてお礼とお詫びを申し上げます。

ただ一つ心残りなのは、増強の問題です。「退会防止」に力を入れたつもりでしたが、歯止めがかからず、6 月末で地区の会員数が 2,927 名とかなりの減少が見られました。世界的には増えておりますが、日本では減少の一途にあります。数年前に会員数が 4,000 名の寸前まで参りましたが、それから 1,000 名の減となってしまいました。残念な結果となり、申し訳なく思っております。

クラブ数が増えて、会員数が減っているため、小人数のクラブが増えております。クラブ合併の問題がこの地区から来年の規定審議会に制定案として提出される模様です。

前産年度が始まりました。新しい目標に向かって、貴クラブの益々のと、直前会長、幹事の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

ポリオ発生状況 (2005年ポリオフリー宣言！)

(単位:人)

ポリオ発生報告、1999-2003年 (2003年7月24日現在)

	1999	2000	2001	2002	2003					
					2/18	3/18	4/25	5/23	6/19	7/24
アフリカ地域 (AFRO)	246	160	69	197	0	6	14	26	45	63
南北アメリカ (AMRO)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東地中海地域 (EMRO)	479	287	143	119	2	7	18	24	38	43
ヨーロッパ地域 (EURO)	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
東南アジア地域 (SEARO)	1161	272	268	1562	1	55	68	77	82	87
西太平洋地域 (WPRO)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Global Total	1887	719	483	1878	3	68	100	127	165	193

(月日は集計日)

最新のポリオの発生状況は、下記 URL で確認できます。

http://www.who.int/vaccines/casecount/case_count.cfm

小島年度の地区運営を振り返って

～改革の灯を絶やすまい！～

国際ロータリー第2640地区

地区研修リーダー

PDG 中村 幸吉



小島ガバナー(当時エレクト)が地区運営について本格的に検討を始めたのは、国際協議会(アナハイム)の前の次期会長勉強会(2001.11.3)の頃であったと思います。毎日のように一日でも空けば、“暫くでした”と言う程、頻繁に電話のやり取りが始まったのもその頃からでした。

まず、問題となったのは、国際ロータリー(RI)に正式に申請する地区リーダーシップ・プラン(DLP)でした。たまたま、ロータリー章典(Rotary Code of Policies)のDLPの項(17.020)の和文を入手しておりましたので、それを小島ガバナーにお渡ししましたが、ガバナーは英文の17.020項もRIホームページからプリントアウトし、この章典に基づいて、我が地区のDLPを成文化しようということになったのです。

私は皆さんにDLPを判って貰うことだけに腐心しておりましたので、“DLPはガバナー補佐を置くこと”と簡略して説明してきましたが、実はDLPは

ガバナー補佐制度を設けること
公式訪問を多様化すること

地区組織を効率のよいものにすることの3本柱で成り立っています。は前田年度で試行しました。では合同例会が進んでおりますが、もう一つ工夫が必要でした。問題は、他の地区で、地区組織を改造して、大失敗をした例があるのです。

小島ガバナーは、

では公式訪問をIMで行う。

は地区委員会を、クラブ主導と地区主導に峻別することによって、これまで、兎角、地区委員会に対するブーイング(クラブの意向が反映していない)が多かったことを解消する。

ことを考えられ、何と地区幹事の定義にまで言及した、恐らく、日本でも初めてのロータリー章典に則ったDLPを成文化したのです。

このDLPに関しては既にすべてを消化し、その評価が待たれるところですが、IMの合同例会については聴衆が多い分だけ、ガバナーアドレスに迫力があつたことは確かでした。また、クラブ主導による地区委員会の活動についてはクラブからの“地区は勝手に何でも進める”というクレームは皆無でした。ただ、委員長一人の委員会があり”全く大変でした。”とある委員長さんがこぼされていましたが、どちらかという気持ちよく仕事を進められているように見受けられました。

とにかく、ボトムアップによる活動の象徴がクラブ主導による地区委員会の運営です。この考え方、そしてその手法は今後も当地区の方向として堅持すべきものと評価しております。

そして、PETS終わり、地区協議会です。

これは従来の手法が全面的に改革されました。小島ガバナーは8回にわたる協議会において、全く”改革”というセリフを口にされませんでした。地区研修リーダーの私だけが、改革という表現で事態の重要性を訴えました。

これまで、恐らく日本中がそうであったと思いますが、地区協議会は次期クラブ会長始めクラブ4大奉仕部門理事、委員長を含めて、各クラブから8~10名が参加し、地区役員も合わせ、総勢1,000人近くが一同に集まり、奉仕活動すべてにわたり研修する一大イベントでした。それを小島ガバナーは部門毎に分け、8回、8週間にわたって実施するという大改革を行ったのです。

この改革に研修リーダーとして乗り気になったのは、小島ガバナーの“私は各部門の委員長さんに直接話をしたい”の一言でした。これまでは全体会議の後、8会場に分かれての部門別でしたから、小島ガバナーの願いを達成するには、自動的に8回、8週間の長丁場と言うこととなります。

この決断と、その実施の結果には全く大きな反響がありました。まず、是とする側では、確かに各部門の委員長に対して、ガバナーの意向がストレートに伝わり、感銘も深まったのです。ポリオと財団の一般寄金の仕分けが見事に達成されたのは、ガバナーが直接、話しかけをしたことの成果の一つといえます。一方、否とする側の最大の言い分は、クラブ役員が一同に集まることによる連帯感と興奮

度(盛り上がり)の欠如でした。

研修リーダーとしてその評価は慎むべきところと思いますが、後者の効果はIMとか、地区大会の折に工夫が可能であり、むしろ前者のガバナーの意向が全クラブ役員に専門別に伝わる効果を考えると、この手法の重要性は無視できない、と考えます。

以上、小島ガバナーは事を処理するに当たって、まず、理屈を立て、次いでそれを実施する方法を探り、これまでの手法に拘ることなく進めて、一年を通されました。その是非は、別として、新旧合同地区委員会、諮問委員会、そして多くの方々へのガバナーを終わるに当たってのご挨拶の中で、「この一年間、私の自由にさせて下さいましたことに心からお礼申し上げます」の言葉にすべてが集約されていると、地区の皆様にお伝えしておきます。

他に、触れるべきことも多く残っているのですが、最後に、地区の皆様をお願いしたいのは、小島ガバナーが推進した地区運営の”改革の灯”は絶やしてはならない、さらに、さらに改革を進めて戴きたいと言うことです。些かのクレームの付いている部分もありますが、改革によって生じた軋みは、我々自身の知恵によっていくらでも補えますが、後戻りするようなことがあっては、自らの衰退を招くこととなります。”改革の灯は絶やすまい”が年度を終わっての私の願いです。



第2640地区のホームページ

<http://www.rid2640g.org/>

最終段階のポリオ撲滅運動

国際ロータリー第 2640 地区

PDG 中島 治一郎



思えば長い道のりでした。ポリオ撲滅運動を私達ロータリーの 100 周年記念事業として正式に取り上げたのは、1986 年の規定審議会においてであった。それまでに、主にフィリピンのロータリアンによるグラスルート運動がポリオ撲滅の実績を上げ、国際レベルでのコンセンサスを醸成して来ていたのです。その頃には毎年、世界で 50 万人前後の子供がポリオに罹っていた。その罹患者数は、昨年には 2 千人を下回り、今年は 6 月末現在、183 件で、0.04% 以下に減少しました。

然しながら、再来年 6 月、シカゴで開催のロータリー 100 周年記念国際大会にてポリオの根絶宣言を行うのは不可能となりました。根絶宣言には、3 年間のポリオ発生ゼロの実績が不可欠で、その時間的余裕が無いのです。今の所、2003 年 12 月 31 日までにポリオの発生をゼロにし、以後ゼロの状態を持続し 2005 年 6 月に至れば、国際大会において、その事実を WHO が公表し、世界の皆さんに成果を知って頂く事になります。

それが、そう簡単には行かないのです。未だポリオが発生している地域はインド北部、

ナイジェリア、パキスタンであり、内戦、民族移動、宗教、極貧と言う共通点があります。この 3 ヶ国とアフガニスタン、ニジェール、エジプト、及びソマリアの 7 ヶ国を最重点国として、繰り返し徹底的にポリオワクチンの一斉投与を行います。準最重点国として、アンゴラ、バングラデッシュ、コンゴ民主共和国、エチオピア、ネパール、それにスーダンの 6 ヶ国でも、かなり徹底的な一斉投与を行います。

昨年 1 月、今後必要とされるワクチンの入手費用を WHO、ユニセフ、CDC (アメリカ疾病管理予防センター)、それに国際ロータリーの四者で勘案し、4 億ドルと弾き出しました。内、国際ロータリーが引き受けた額は 8 千万ドルです。昨年 7 月 1 日以来の 1 年間で、10% 増しの 8 千 8 百万ドルを達成しました。今後の課題は、重点地域で徹底的にワクチンを一斉投与する事です。それには、私達ロータリーは、ポリオプラス・パートナーズ・プログラムという素晴らしい実績を持っています。人的支援、支援して下さる方々の為のエプロン等の購入、投与を受けに来る子供達へのプレゼントの用意、一斉投与の PR 費用、調査及び試験に要する費用、等々が、このプログラムには組み込まれています。今後は、是非、このポリオプラス・パートナーズ・プログラムを通じて、ポリオ撲滅の仕上げにご参加をお願いします。そして、再来年の 6 月、シカゴで行われる国際ロータリーの国際大会に参加し、WHO の勝利宣言を聴き、大いに感動に浸りたいものです。

GSE 団員の募集

財団研究グループ交換 (Group Study Exchange) 派遣団員募集

このプログラムは、専門職務に携わる若い男女のチームが、海外の国のチームと訪問の交換をするものです。

このチームメンバーに選ばれた方は、その国で4週間滞在し、自分の国の文化や知識を伝え、かつ相手国の文化、習慣、職業などを体験します。

この GSE チームは、ロータリアン以外のチームメンバー4名と1人のロータリアンを

団長として構成され、人々との交流を通じて国際理解を深め、民間の親善大使としての役割も果たします。特色は他の海外旅行や留学と異なり、ロータリアンの自宅にホームステイして、同じ専門職に携わる人々に会う機会や、職業研修のチャンスを得ます。また訪問先ロータリークラブのプレゼンテーションでは、日本の紹介を行い、親善をはかります。

1. 交換相手国：ブラジル 第 4640 地区
2. 実施予定日：2004 年 3 月中旬から約 1 ヶ月
3. 募集人員：団員 4 名 (25 才から 40 歳までの職業人
国際ロータリー第 2640 地区に居住或いは勤務しているもので、同じ職種に 2 年以上勤めている者。ただし、ロータリアンの子、孫は応募できません。
4. 参加申込書：ガバナー事務所までご請求下さい。
(参加費用はかかりません。小遣い程度です。)

尚、ご質問等がありましたら、ガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

地区幹事 (2002 - 2003 年度) を終えて



角谷・原・林・深井・小西
前田・中野・高寺・嶋田・浜本

地区代表幹事 高寺 寿

2001 年 11 月泉大津にガバナー事務所を開設して、約 20 ヶ月が経ちました。2003 年 7 月末日をもちまして事務所を閉鎖することになりました。この間、各クラブの会長、幹事様を始め、多くの会員の皆様に大変お世話になりました。また、パストガバナー、ガバナ

一補佐、地区役員の皆様のご寛容とご指導をいただき、大過なく職務を全うできましたことを感謝申し上げます。各クラブの事務職員様にもいろいろなご無理を申し上げました。快くお聞き入れいただきありがとうございました。

ロータリーの生き字引のような小島ガバナー、手堅いベテラン揃いの地区幹事の皆さん、もう何年もガバナー事務所にいるようなベテラン風の椎野(阪口)さん、それに樽井さん、地区大会事務職員の本村さんに囲まれて、楽しく仕事をさせていただきました。この2年足らずの間に、やっと「ロータリーのいろは」がわかりかけてきたかな?というのが、私の偽らざる感想です。

さて、小島年度で際立ったことをピックアップすると、

ロータリーの基本に忠実であったこと

DLPの本採用(ガバナー補佐)

地区役員、委員および地区幹事の人数を少なくしたこと

ガバナー事務所からの発信等をHP、Eメールにしたこと

月信をホームページ配信にしたこと

地区協議会を8回に分けて、部門別に開催したこと

IMでの公式訪問

地区大会の日数を短縮したこと

等があげられます。

については、クラブ理事会にかなりの裁量権がある昨今、クラブの活動実態がクラブの定款・細則と乖離していないかどうか。定款・細則を実態に合うように見直しを各クラブにお願いしました。その他、地区大会での各種委員会の見直し、大会決議案の内容などについても検討を加えました。

～ について、地区委員会の中には1~2名で活動をお願いした委員会もありました。ガバナー補佐の皆様の協力もあり、また委

地区副代表幹事 林 巖

2640地区クラブ会員の皆様、小島ガバナー年度が皆様のご協力、ご支援により、無事終了出来ました。一幹事の私もほっと一

息ついております。一年半前から代表幹事の高寺さんによる計画、指導の下、ついて行くだけでした。特にガバナーエレクトの時の小

員長様の頑張りにより、少人数の委員会も例年どおりの活動ができました。HPにEメールとガバナー事務所からの発信方法を変更しました。また、月信をHP配信にしました。これらの方法は経費削減が主目的でありました。そのため、会員の皆様にご不便とご迷惑をおかけしたことと思います。

小島ガバナーから地区協を8回に分けて開催するといわれた時は、私もそんな考え方があったのかと驚くばかりでした。しかし、これは素晴らしい結果を生みました。経費も安く上がりましたが、なによりもスタッフの負担が軽減されるという側面もありました。

IM単位による公式訪問も素晴らしいものでした。ご準備いただきましたホストクラブの皆様にご感謝申し上げます。

地区大会は日程を1日半としたため、本大会は実質的に1日となりました。プログラムの簡素化、ビュッフェ方式の昼食、大人数の会場移動等不安要素も多々ありましたが、楽しい素晴らしい地区大会が開催できました。ホテルでの一括開催でしたが予算面も充分クリアできました。多方面からお褒めをいただき、スタッフ一同感激しております。

以上のように、昨年までとは多少変更して運営を進めてまいりましたが、概ね会員の皆様のご理解とご賛同をいただけたのではないのでしょうか。

2003-2004年度がはじまりました。貴クラブ並びに会員の皆様のご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

息ついております。一年半前から代表幹事の高寺さんによる計画、指導の下、ついて行くだけでした。特にガバナーエレクトの時の小

島さんがアメリカでのガバナー研修に参加されるのをお見送りして、その後の行動が見えて参りました。帰国され準備も佳境に入り、気合が入って来たのを思い出しました。PETSに始まり、数多くの委員長会議がガバナーの意向で実施され、その度にパストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナー補佐、部門委員長、委員の方々が毎週の会合に参加されたのには本当に敬服いたしました。奉仕の理想は自分以外の他人の為に時間、お金、労働を提供する事がよく解りました。

私は職業奉仕がロータリーの原点だと思っており、自身、超多忙な一年間を過しました。小島さんはロータリーに精通されておられたので、我々幹事も迷う事なく行動できました。又、泉大津クラブは、中島パストガバナーもおられ、よくご指導戴き無難に実行出来ました。ロータリーに入って良かった。地区幹事の一人として種々の体験や多くのロータリアンと知り合えました。

特にガバナー公式訪問に参加して、各クラブ会長・幹事・メンバーの方々の熱い友情、心遣いが伝わってくる歓迎の例会を体感した

地区幹事・地区大会実行委員長 深井 喜一

国際ロータリー第2640地区、2002-2003地区大会を無事終えることができました。これもひとえに皆様方のご支援とご指導のお陰だと思っています。

地区大会終了後も各クラブの皆様方からの多くの温かい労いのお言葉を頂いておりますが、その度に私自身、自分の努力の至らなかったことを反省致しておりますと共に、本当にお世話になりました小島哲様をはじめ、実行委員会の皆様方、そして、コ・ホストクラブの会員の皆様方には改めまして感謝の意を表し、御礼を申し上げる次第でございます。

私の今後のロータリーライフにおきまして

のが私の宝物でした。

地区大会は前哨戦のゴルフ大会が大盛況となりました。それに続き地区大会も深井大会委員長の下、小西大会幹事、高寺代表幹事、藤原クラブ幹事の若手3人が脚本、演出、実行を手造りの大きな地区大会に仕上げました。コ・ホストクラブの和泉、和泉南、忠岡RCのメンバーと泉大津RCのメンバーが融合して無事終える事が出来ました。小島さんの希望されていた一人でも多くのロータリアンと話しをしたいという気持ちが皆様にも伝わったと思います。ITのガバナーとしてもコスト削減に努力されたのを見て、私の経営感も変わりました。その他、ロータリー財団に参加して、重要性を認識し、世界大会への参加も、やはりどれもこれも誘われて良かった事ばかりでした。今度は仲間を誘う側に努力せねばなりません。小島ガバナーと気持ちは同じで、ガバナー補佐の皆様、パストガバナーの皆様、そして各クラブ会長・幹事とロータリアンの皆様、各部門委員の皆様、本当にご協力ありがとうございました。

も今回の経験と皆様方から頂いたありがたいご意見の数々を参考にさせて頂きながら、その時々には与えられた任務に励んでまいりたいと思っておりますので、今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻の程、よろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、この歴史と伝統のある第2640地区のロータリアンの諸先輩と皆様方が作られた素晴らしい地区の活動が益々充実したものとなりますよう心から念じまして私の所感とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

月信担当地区幹事 浜本 俊朗

月信担当の地区幹事を終るに当たり、ガバナーのお役にたてたか疑問に思っています。地区代表幹事の高寺さんにオンブにダッコの状態で過ごしてしまいました。従来の月信のうちガバナーが各クラブの会長、幹事にお出しする部分のみを中野泰則、嶋田繁の三人で

担当しました。

記事を頂いたガバナー、PDGの方々、各委員長を始め皆様には感謝致しますと共に色々不愉快な思いをおかけしました事に対しまして、心よりお詫び致します。

一年間本当に有難うございました。

地区幹事 原 正人

6月14日にテクスピア大阪で開かれた新旧合同地区委員会を最後に、今年度の地区行事はすべて終了しました。とはいうものの、地区の会計を担当している私にとっては、これからが一番の大仕事です。早く楽になりたい気分です。

この一年を振り返ってみると、つくづく自分の非力さを痛感させられました。まわりは立派なロータリアンの方々ばかり、多くの励

ましの言葉を受けながら、何とか一年間が終りそうです。ロータリアンの友情にふれ、奉仕の精神も学びました。これから少しでも先輩ロータリアンに近づけるように、日々、努力していくことが必要だと思っています。

最後になりましたが、2640地区のロータリアンの方々、泉大津ロータリークラブの方々、そして事務局員のみなさん、一年間の御協力、誠にありがとうございました。

地区幹事・地区大会幹事 小西 市朗

本年は地区幹事としてのお役を頂き、無事に終えることが出来、ホッとしております。特に地区大会では大勢の方のお世話になりありがとうございました。また当日は、非常に多くのメンバーの方に参加して頂き、感謝の気持ちで一杯です。

まだ入会3年目での大会幹事という役でし

たので、不安な気持ちのスタートでしたが、色々な地区大会に参加し、他の大会を参考にしながら(の当地区の大会でしたが)、深井大会実行委員長のもとで、大過なく終了することが出来たと思っております。

本当に皆様にお世話になり、ありがとうございました。

地区幹事・「ロータリー友」地区委員 中野泰則

ロータリー歴の浅い(平成6年入会)の私が地区幹事に就任するとは思いませんでした。当時(2001~02年)私は泉大津RCの幹事をしていた関係で、小島エレクトからの要請を受け、引き受けました。小島年度は2002年7月開始なので、泉大津RCの幹事が終われば時間は十分取れると考えていました。実は、

7月の開始までが大変忙しく時間のやりくりで苦労しました。

毎年各クラブの全理事、委員長を一堂に集めて地区協議会が行われていましたが、小島エレクトの方針で、部門ごとに行われることになりました。2002年2月24日会長エレクト研修セミナーと地区協議

会は3月17日の会長部門を皮切りに6月1日の米山部門までの8部門が行われました。その都度、会場設営、受付などで汗を流しました。また、5月3日の職業奉仕部門では進行役をさせていただきました。各参加者は事前勉強のため非常に熱心に勉強されていたのが印象的でした。

小島年度が始まりますと

- 1) 各委員長会議で本格的な活動に関する討議が行われました。その都度、会場設営、受付などを行った。
- 2) 毎月地区幹事会、ガバナー月信の打ち合わせがあり、また、2003年に入ると度々地区大会の打ち合わせがありました。高寺代表幹事のリードでスムーズに進んだ事に感謝しております。
- 3) 4月10日には堺南RC、堺南西RC合同例会に公式訪問いたしました。立場を変えてクラブの活動状況や課題を聞く貴重な経験をさせていただきました。
- 4) 地区大会(4月26日、27日)では、登

録、信任状委員会の委員長として信任状の確認と出席数を本大会場で報告しました。IM6,7,8組の事務局の皆様には受付で大変お世話になりました。

「ロータリーの友」地区委員として

地区委員として隔月東京の「友」委員会に出席しました。そして、地区委員は、毎月号「友」の読後感と要望の提出が義務付けられています。その為に毎月「友」を読まざるを得なくなりました。これまで余り読んでいなかったが、読んでみると素晴らしい記事が満載されています。そこで、各クラブの雑誌、広報委員長宛に文章で読んで欲しい記事を紹介し、例会で説明をお願いしました。

2002年2月の会長研修セミナーから2003年6月までの約1年半、地区の仕事をする機会を得ました事は今後の活動に役立つものと思います。

最後にロータリアンの皆様には大変お世話になりましたこと厚くお礼申し上げます。

米山担当地区幹事 嶋田 繁

一年間、米山担当、地区幹事として無事終わることが出来て大変嬉しく思っております。振り返りますと、毎週のように地区協議会、委員会等があり、余り休日が取れませんでした。今となってはそれも懐かしい思い出です。

米山奨学生の研修会、又米山奨学生とインターアクトとの交流会、奨学生試験等々、奨学生と接する機会が多く、彼等の素晴らしさを知る事も出来ましたが、裏面をも垣間見たように思います。

地区幹事として、大したことは何も出来ませんでした。私としては二度とない、良い経験をさせていただきました。パストガバナーを始めガバナー補佐、地区委員長、地区委員、或いはクラブ委員長の方とも多少なりとも交流ができましたし、ロータリーの知識もかなり学べたように思います。

2003-04年度のクラブ会長を勤めるに当たり、この地区幹事としての経験が大変役立つように思います。

地区幹事 角谷 泰三

3年間の地区幹事の任務を無事終える事ができました。これも偏にガバナーはじめ地区幹事の皆様のご指導の賜と感謝致しております。

思えば、'99~'00成川ガバナー年度の4月頃より上野山代表幹事にお世話になり、会議の見学並びに幹事の心得などお教え頂き、又'00~'01水田ガバナー年度には、ガバナーはじめ河合代表幹事の適切なご指導を受けながら見習いとして殆どどの会議に出席の機会をつくって頂きました。

何分約30年もロータリーの会員として籍を置きながら全く勉強もせず、後悔先に立たず1からのスタートでした。

ロータリーは間口が広く、奥が非常に深い、

地区幹事 前田 耕道

私は2003-2004年度前窪ガバナーの地区代表幹事を拝命した関係で前年度つまり小島ガバナー年度の地区幹事の一人として、末席に名を連ねることになった。小島ガバナー年度が始まる以前に、地区協議会の案内を頂き、8回にわたる会議の一つに初めて出席した折、小島ガバナーエレクト(当時)から、今後毎月1回開催される地区幹事会に来ないかとのお誘いを受け、いわば客分として出席させて頂くことになった。幹事会は泉大津RCの例会前の僅か一時間の間にガバナー事務所で開催され、高寺代表幹事が報告、議事、計画等を極めて簡潔にレジメにまとめ、小島ガバナーを中心に、他の数名の幹事とともに実に要領よく、しかも綿密に進められる。この幹事会に出席することによって、次年度代表幹事の大役をどうこなせばよいのか全く解らなかった私にとって、地区内の最新情報、行事の進め方等を具体的に知る機会を与えられ、疑問点が解明され、私があずかるガバナーエレクト

しかも密度が濃い、いよいよ本番'01~'02前田ガバナー年度の代表幹事として毎日事務所に通い、これ勤めましたが、所詮一夜づけ、地区会員の皆様に多々ご迷惑をお掛けした事と思います。

'02~'03小島ガバナー年度には高寺代表幹事のもと、地区幹事の末席をけがし、その任を果さず申し訳なく思っております。

この3年間における活動と、サンアントニオ、バルセロナの世界大会出席とジャパンナイトも楽しい思い出であります。

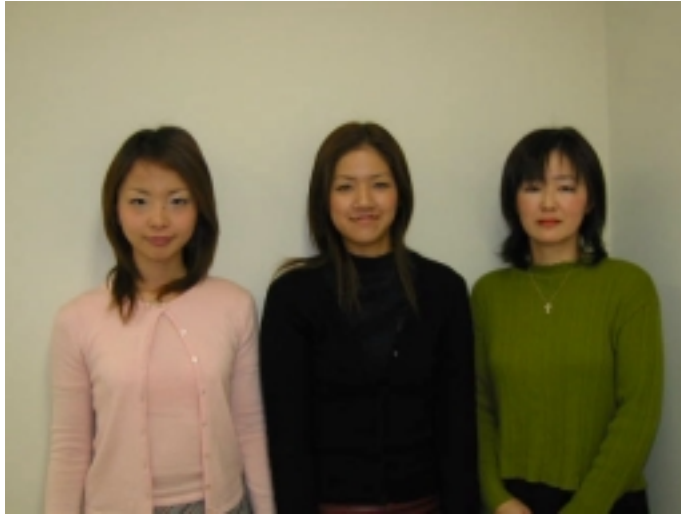
又これからもロータリーを楽しみ、奉仕活動に励み、クラブの活性化の一助たりとも努力を傾け度いと思っております。

事務所との連絡も密になり、代表幹事という職責を序々に理解しえたことは本当に有難く、有意義であったと深く感謝している。

また、これまでにない地区改革を英断し、傑出してはいるが、偉ぶらない小島ガバナーの警咳に接することができるのと同時に、スーパーマン的に優れた高寺代表幹事、小数精鋭の親切で人柄のよいほかの幹事の皆様方、有能な事務職員からも数々のご指導と激励を賜うることができた。こうした体験から、今度は藤井次期代表幹事にも前窪ガバナー年度の地区幹事会へ出席することをお勧めしたいと考えている。

何はともあれ、新年度が始まった。前年度に勉強させて頂いたことを踏まえて、不肖私なりに精一杯前窪ガバナー年度を努めあげる所存なので、今後とも何卒よろしくご指導とご鞭撻の程を伏してお願い申し上げる次第である。

事務職員よりガバナー事務所閉鎖のご挨拶



左より、本村・椎野(阪口)・樽井

椎野(旧姓：阪口) やよい

第 2640 地区のロータリアン クラブ事務局員の皆様 ガバナーエレクト事務所開設以来の 21 ヶ月間、本当にお世話になりました。厚く御礼申し上げます。

21 ヶ月前、何もわからないままこの事務所へ来させていただき、自分自身は無我夢中に毎日を通してきつもりです。皆様にはいろいろとご迷惑ばかりかけてきましたが、私自身は本当に楽しい 21 ヶ月間でした。右も左もわからなかった時期にはいろいろな方から『ガバナー事務所は大変だよー』とよくおどかされていたので、どれほどの大変さなのかビクビクしながらお仕事をさせていただいておりましたが、その言葉を踏まえて 21 ヶ月間を振り返ってみても、楽しい思い出ばかり

しか残っておりません。これもひとえに、小島ガバナーはじめ、高寺代表幹事、地区幹事の方々、またロータリアン、事務職員の方々のお陰です。

ロータリーのお仕事をさせていただいて、私自身、とても貴重な勉強をさせていただき、ロータリーの素晴らしさを知る事ができ、また、いろいろな方と出会えることができました。ここへ来させていただいて本当に良かった、小島ガバナー年度が終った今、改めてそう思います。

ここで学んだこと、ここへ来て皆様からいただいた温かさをこれからの私の人生の宝物にしたいと思います。

本当にありがとうございました。

樽井 真理子

ガバナーをはじめ、代表幹事さん、地区幹事さん、委員会の皆さん、至らない点も多々あったと思いますが、ご指導有難うございました。短い間でしたが、皆さんと一緒に働かせて頂き、ロータリーの奉仕について多くのことを学ばせて頂きました。世界には、まだまだ空腹のために命を落とす人々がいること。

また、十分な教育を受けられない子ども達がいること。そして、ロータリーが困っている人々に救いの手を差し伸べていること。多くの国際親善奨学生の方が外国で学ぶ機会を得、ロータリーの心を受け継いで行ってくださること。そして、それら全てが会員さんお一人お一人の奉仕の精神によって支えられ

ていること。... 私自身、こちらでの体験を今後の生き方に反映させていければと願っております。

皆さんの、そしてロータリーの益々のご発展をお祈り申し上げます。

地区大会事務局 本村 雅身

2月から6ヶ月間本当に有難うございました。ガバナー事務所に勤めて、自分自身すごく良く変わりました。例えば奨学生の人達を見ていて留学も遠い夢ではない。自分でも出来る！など、夢が現実になりつつあります。今までならばしたいことでも、どうせ出来な

いなど投げてしまっていたけれど、これもすべてロータリーの方々と出会えたからだと思っています。自分の夢に向かって進んで行きたいと思います。小島ガバナー、高寺代表幹事をはじめ多くの皆様本当に有難うございました。

ガバナー事務所からのお知らせ

2002～2003年度ガバナー事務所閉鎖予定

- ・2003年6月30日(月)まで、ガバナー事務所として、通常業務を行います。
- ・残務整理のため、2003年7月31日(木)まで、業務を行います。
- ・2003年8月1日(金)以降は、下記まで連絡をお願いします。

skojima@gold.ocn.ne.jp (小島)

takadera734@ioctv.zaq.ne.jp (高寺)

8月以降の報告書発行予定

下記報告書は整理およびまとめが出来次第、2002-2003年度ホームページに掲載します。

- ・地区大会報告書
- ・2002-2003年度のまとめ

2002～2003年度ガバナー事務所

所在地 〒595-0062
大阪府泉大津市田中町 10-7
泉大津商工会議所会館 1F (南海本線泉大津駅下車海側徒歩2分)

電話 0725-23-7264
FAX 0725-23-9264
E-Mail kojima-s@eagle.ocn.ne.jp
勤務時間 月～金 10:00～17:00 (土・日・祝は休ませて頂きます。)
事務職員 椎野 やよい(旧姓:阪口)・樽井 真理子

第2640地区 出席報告(2003年6月)

クラブ名	02.7.1 会員数	今月末 会員数	内 女性	入会		退会		例 会 数	6月 出席率	平均 出席率	クラブ名	02.7.1 会員数	今月末 会員数	内 女性	入会		退会		例 会 数	6月 出席率	平均 出席率
				6月	累計	6月	累計								6月	累計	6月	累計			
有田	51	47	0	0	2	3	6	4	93.75	91.05	りんくう泉佐野	38	34	1	1	1	1	5	4	81.35	82.24
有田南	46	45	0	0	0	0	1	4	92.77	92.92	堺	93	84	10	0	6	6	15	4	96.12	94.31
有田2000	26	24	2	0	0	1	2	4	78.00	83.72	堺フェニックス	40	32	8	0	0	2	8	3	78.67	82.21
藤井寺	21	16	3	0	2	4	7	4	77.93	81.27	堺東	42	40	1	0	0	0	2	4	97.06	96.50
藤井寺しゆら	19	18	0	0	0	1	1	4	87.50	89.65	堺北西	27	22	1	0	0	5	5	4	83.65	85.14
御坊	69	66	4	0	3	3	6	4	88.52	90.52	堺泉ヶ丘	30	25	0	0	0	1	5	3	97.33	87.75
御坊東	25	25	0	0	1	0	1	4	83.00	79.52	堺北	43	43	0	0	1	1	1	3	89.59	87.29
御坊南	46	43	1	0	2	3	5	4	90.56	85.54	堺南	44	44	3	1	4	2	4	4	82.96	86.96
羽曳野	34	33	0	0	3	1	4	4	92.80	94.40	堺中	42	39	0	0	1	4	4	3	78.47	75.90
羽衣	27	23	3	0	0	2	4	3	85.33	83.46	堺南西	17	10	0	0	0	6	7	3	62.50	75.03
阪南	30	29	2	0	0	1	1	4	85.01	84.72	堺西	32	29	1	1	1	2	4	3	77.27	86.12
橋本	51	47	0	0	3	3	7	3	89.39	88.91	堺おおいづみ	36	35	4	0	2	2	3	3	88.05	91.46
橋本紀ノ川	22	22	1	0	0	0	0	3	90.90	91.97	堺清陵	29	28	3	0	1	2	2	3	89.74	92.18
岩出	42	38	0	0	0	2	4	4	90.39	90.53	堺泉北	36	31	1	0	0	1	5	3	84.12	82.23
和泉	46	41	2	0	1	5	6	3	92.38	92.71	堺東南	19	19	0	0	3	0	3	4	89.74	90.29
和泉南	46	38	0	0	1	4	9	4	62.18	60.52	泉南	28	29	3	0	3	0	2	4	81.52	81.70
泉大津	56	51	1	0	1	5	6	4	81.78	84.84	新宮	65	60	0	0	3	6	8	4	90.42	90.11
泉佐野	50	44	3	0	2	4	8	4	78.38	85.99	白浜	30	23	0	0	2	2	9	4	78.76	92.28
海南	65	61	1	0	1	3	5	4	96.49	91.21	忠岡	21	18	1	0	0	1	3	4	64.14	68.23
海南東	71	71	2	0	2	0	2	4	82.97	86.55	太子	11	8	0	0	0	1	3	4	63.88	76.69
海南西	34	33	0	0	1	1	2	4	82.78	83.65	高石	44	37	1	1	2	6	9	4	81.75	76.67
貝塚	39	33	2	1	1	1	7	4	93.60	93.53	高師浜	33	25	0	0	1	5	9	4	85.00	85.80
貝塚コスモス	33	31	3	0	5	2	7	3	100.00	88.56	田辺	87	89	2	0	5	3	3	4	84.61	90.20
関西国際空港	45	40	2	0	0	2	5	4	67.95	71.43	田辺はまゆう	28	23	3	0	4	4	9	4	84.69	84.51
河内長野	37	34	3	2	2	1	5	4	98.10	95.30	田辺東	58	55	2	0	3	1	6	4	80.49	89.09
河内長野東	34	30	0	0	1	2	5	4	89.41	90.61	富田林	38	37	1	1	1	1	2	4	90.38	91.80
岸和田	79	72	0	1	4	3	11	3	86.15	86.48	富田林南	32	30	1	0	1	2	3	4	75.93	82.94
岸和田東	67	63	11	0	3	1	7	4	92.97	92.78	打田	15	16	3	0	2	1	1	4	83.82	89.31
岸和田北	47	41	0	0	1	3	7	3	82.61	91.20	和歌山	71	73	0	0	9	2	7	3	93.33	91.01
岸和田南	35	34	2	0	1	0	2	4	92.65	88.94	和歌山アゼリア	38	50	26	1	17	1	5	4	85.50	78.98
粉河	44	41	1	1	2	3	5	3	78.57	81.55	和歌山東	64	63	0	0	5	2	6	3	98.70	98.50
高野山	31	29	0	0	1	1	3	4	92.00	91.22	和歌山城南	51	49	1	0	2	2	4	4	91.00	89.93
串本	18	14	1	0	0	3	4	4	67.65	61.56	和歌山北	72	70	1	0	5	1	7	4	83.10	83.62
松原	54	51	0	0	2	3	5	3	83.32	85.70	和歌山南	98	96	1	0	6	2	8	4	87.66	84.16
松原中	33	32	0	3	4	2	5	4	80.83	84.16	和歌山中	46	43	0	0	1	1	4	4	90.91	86.71
美原	30	26	0	0	1	3	5	4	87.71	89.22	和歌山西	39	33	1	0	2	4	8	4	92.65	92.35
那智勝浦	23	24	2	0	3	1	2	4	80.00	74.06	和歌山東南	49	45	5	0	2	1	6	4	73.75	78.43
大阪狭山	6	6	0	0	0	0	0	4	70.83	86.04	大阪金剛	0	24	4	0	29	1	5	4	81.80	74.40

クラブ	7月1日クラブ会員数		6月末クラブ会員数	
76	男性 2987	女性 131	男性 2786	女性 141
	3118		2927	

6月平均 出席率
84.84

入会		退会	
6月	累計	6月	累計
14	181	162	372

新入会員紹介

氏名	所属クラブ	職業分類	生年月日
塩谷 一郎	貝塚	古美術商	昭和21年2月23日
谷 政人	河内長野	土木建築業	昭和25年6月22日
増田 成碩	河内長野	経営コンサルタント	昭和20年5月14日
石本 喜和男	岸和田	消化器外科	昭和23年9月26日
三嶋 忠宏	粉河	私学講師	昭和16年4月4日
岡 譲次	松原中	土木工事	昭和32年4月11日
青木 洋実	松原中	警備保障	昭和37年7月4日
高吉 範明	松原中	建設請負業	昭和29年4月29日
潮見 眞昭	りんくう泉佐野	佛教	昭和32年2月16日
大森 芳郎	堺南	傷害保険	昭和30年9月20日
八木 重喜	堺西	窯業	昭和15年12月2日
田中 博夫	高石	合成樹脂製造	昭和22年10月28日
田中 正章	富田林	不動産管理	昭和31年8月14日
井上 晴喜	和歌山アゼリア	石材業	昭和46年10月7日

ポール・ハリス・フェロー

氏名	所属クラブ		氏名	所属クラブ	
久志本 東	藤井寺しゅら	①	宮久保 和恵	岸和田南	
大石 武徳	岸和田東	①	山内 耕一	岸和田南	
飯塚 十朗	岸和田南		藪 秀則	岸和田南	
大西 敏行	岸和田南		植木 重文	堺おおいずみ	②
岸田 重吉	岸和田南		三谷 滄美	白浜	BE
小西 規雄	岸和田南		村上 恒夫	和歌山南	①
佐藤 英州	岸和田南		島村 辰彦	和歌山南	
寺田 歩	岸和田南		中村 真治	和歌山南	
中川 勝	岸和田南		山田 守	和歌山南	
中岸 光義	岸和田南		加藤 守	和歌山東南	③
別所 啓司	岸和田南		保田 博	和歌山東南	BE

○数字はマルチプルの回数
BEはベネファクター

米山功労者

氏名	所属クラブ	回数	氏名	所属クラブ	回数	
						2003年6月
	片桐 牧	和歌山南				

訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



真砂 泰三 (堺北西RC)
平成15年6月19日逝去(享年67歳)
在籍期間4年
職業分類 弁護士
生年月日 昭和10年11月25日